

第2章

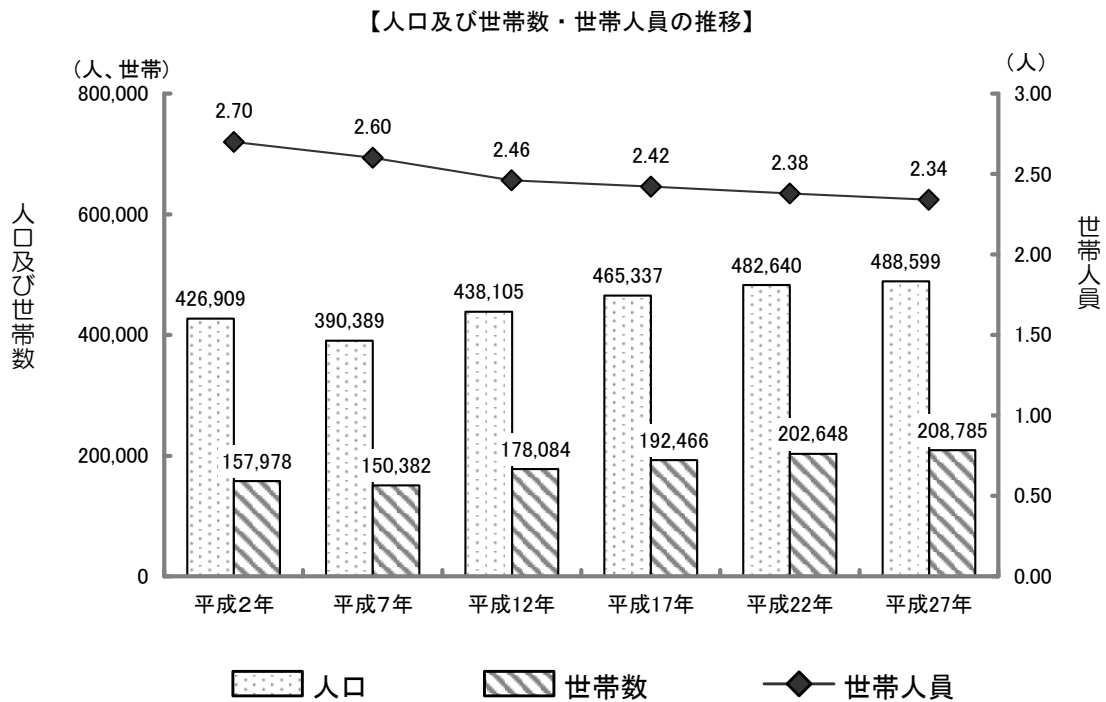
西宮市の医療の現状

1 人口の状況

(1) 人口及び世帯数の推移

本市の人口は、平成27年9月1日現在で488,599人、世帯数は208,785世帯となっています。

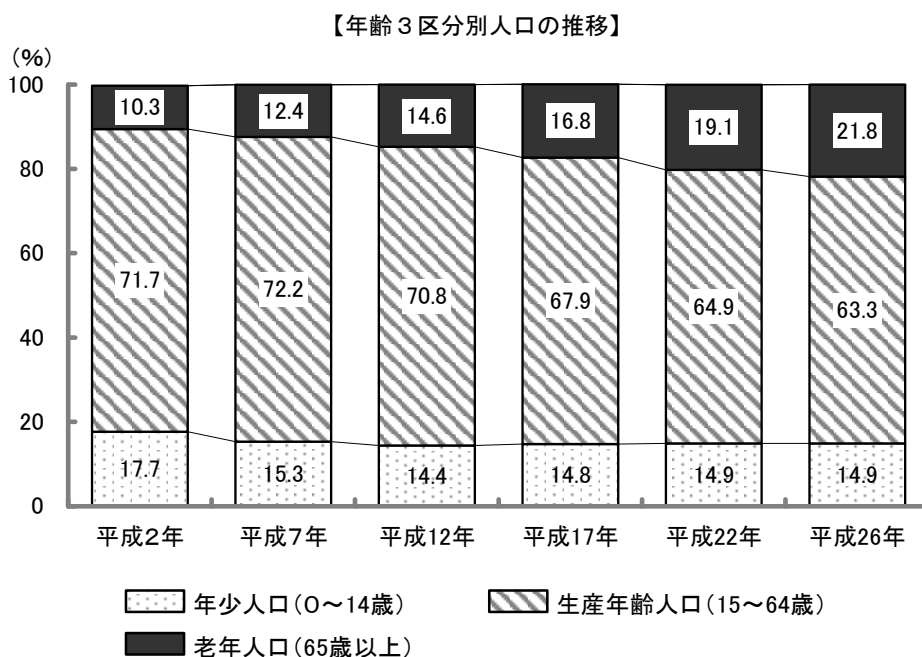
阪神・淡路大震災の影響により、平成7年には人口、世帯数ともに一旦落ち込みましたが、その後は一貫して増加傾向にあります。世帯人員については、平成2年の2.70人から平成27年には2.34人まで減少し、世帯の小規模化が進行しています。



資料：平成2～22年は国勢調査（各年10月1日）
平成27年は西宮市推計人口（9月1日）

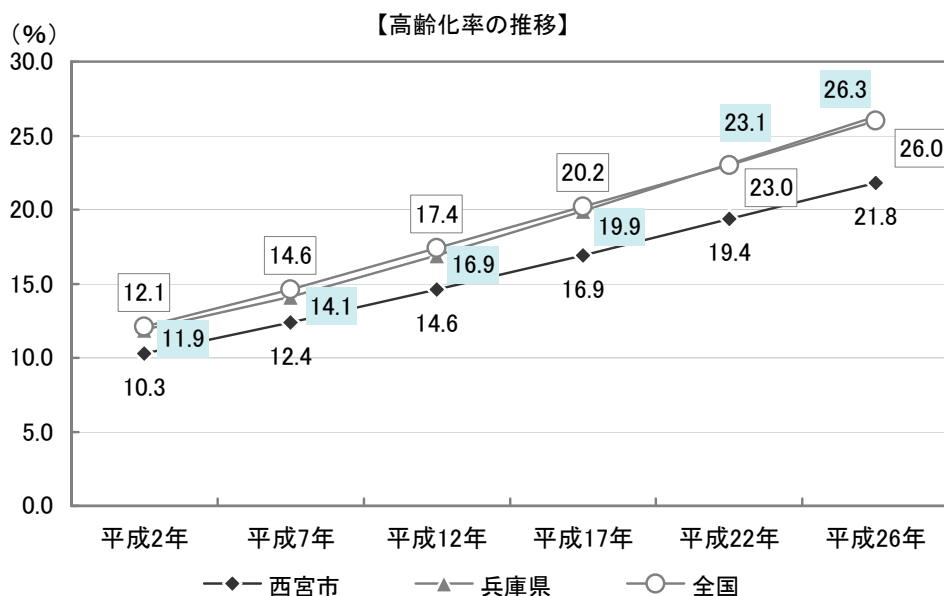
(2) 年齢3区分別人口の推移

本市の年齢3区分による人口構成をみると、「老年人口（65歳以上）」の割合が増加し、「生産年齢人口（15～64歳）」の割合は減少しています。本市の高齢化率（65歳以上人口の割合）は、全国、兵庫県と比較すると低い水準にあるものの、全国的な傾向と同様に高齢化が進んでいます。



※年齢不詳者が含まれているため構成比の合計は100%にはならない。

資料：平成2～22年は国勢調査（各年10月1日）
平成26年は西宮市住民基本台帳人口（9月30日）



※年齢不詳者の扱いが異なるため「年齢3区分別人口の推移」の数値と一致しない場合がある。

資料：平成2～22年は国勢調査（各年10月1日）、
平成26年は西宮市住民基本台帳人口（9月30日）
及び総務省統計局人口推計【全国・兵庫県】（10月1日）

2 出生・死亡の状況

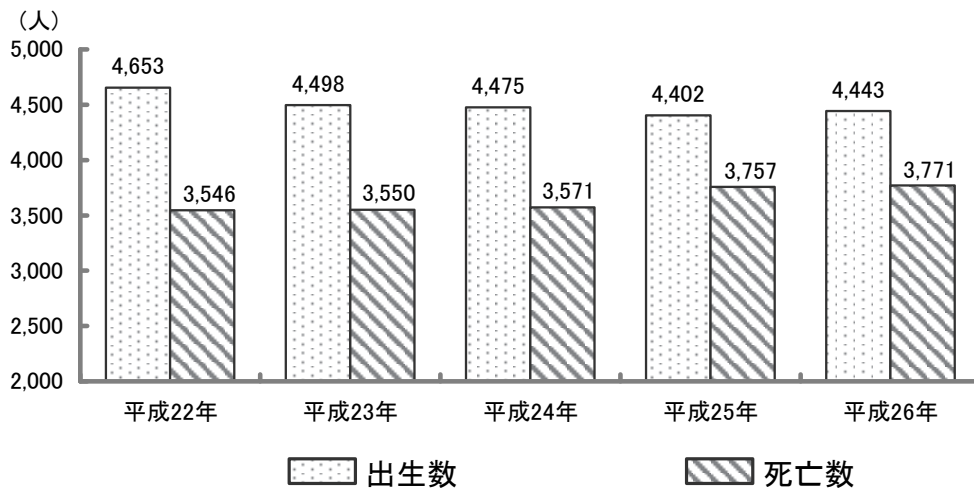
(1) 自然動態

本市の平成26年の出生数は4,443人で、近年減少傾向にあったものの前年に比してやや増加し、死亡数は3,771人で、わずかながら増加傾向となっています。

出生率（人口千人に対する出生数）は9.3で全国、兵庫県を上回っており、前年に比し0.1増加しています。

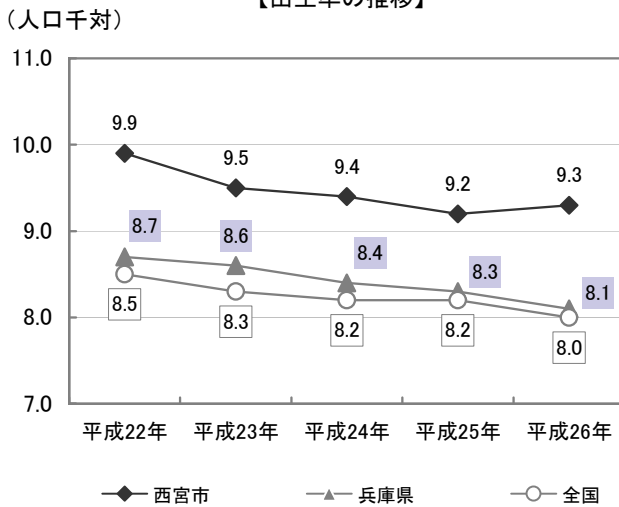
一方、死亡率（人口千人に対する死亡数）は、全国、兵庫県と比較すると一貫して低いものの、増加傾向にあります。

【出生数と死亡数の推移】

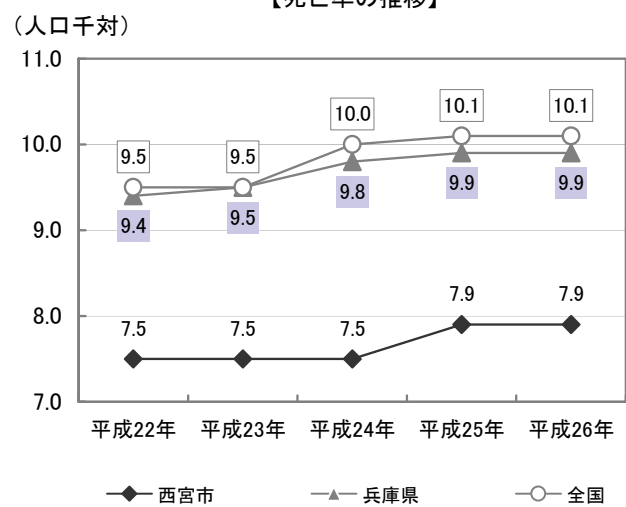


資料：人口動態統計

【出生率の推移】



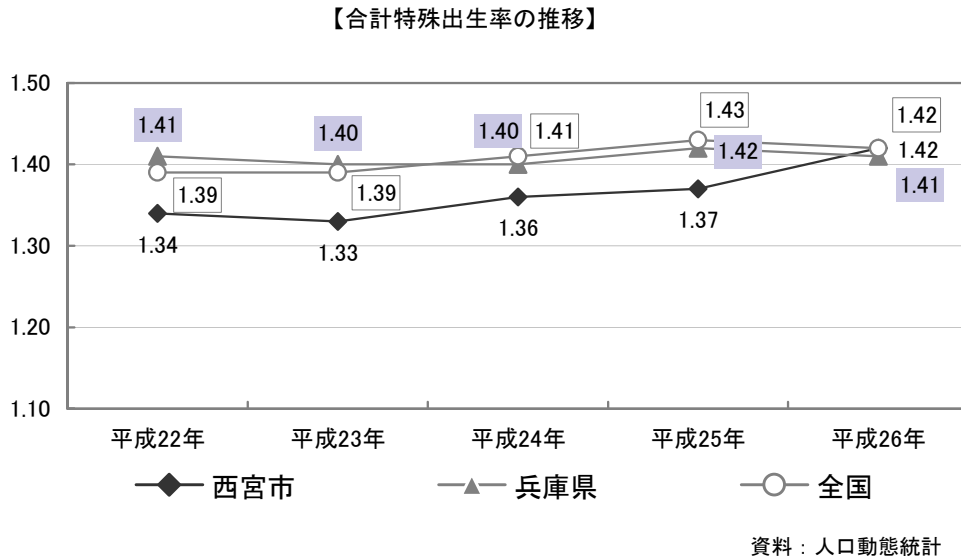
【死亡率の推移】



資料：人口動態統計

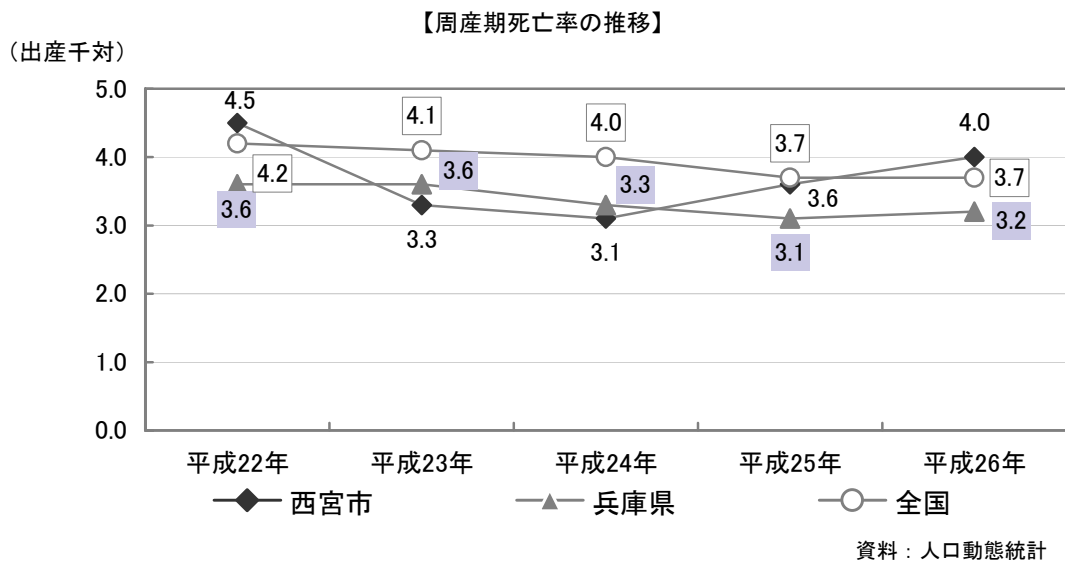
(2) 合計特殊出生率の推移

本市の合計特殊出生率（15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの）は平成23年には前年より減少して1.33となりましたが、その後は上昇傾向にあり、平成26年には1.42となり、兵庫県の値を上回り、全国の値と同水準となっています。



(3) 周産期死亡率の推移

本市の周産期死亡率（出産数千に対する死亡数）は平成26年に4.0と全国、兵庫県の値より高くなっています。平成22年からの推移では、年により変動はあるものの全国、兵庫県の値とほぼ同水準となっています。



(4) 主要死因別死亡数

本市の主要死因別死亡数は、悪性新生物が1,178人、心疾患が535人、肺炎が320人の順となっており、死亡率では全国、兵庫県より低値になっています。

【主要死因別死亡数、死亡率】

	平成26年 死亡数			平成26年 死亡率		
	西宮市	兵庫県	全国	西宮市	兵庫県	全国
悪性新生物	1,178	16,268	367,943	246.7	297.5	293.3
心疾患	535	8,133	196,760	112.1	148.7	156.9
肺炎	320	4,834	119,566	67.0	88.4	95.3
脳血管疾患	300	4,417	114,118	62.8	80.8	91.0

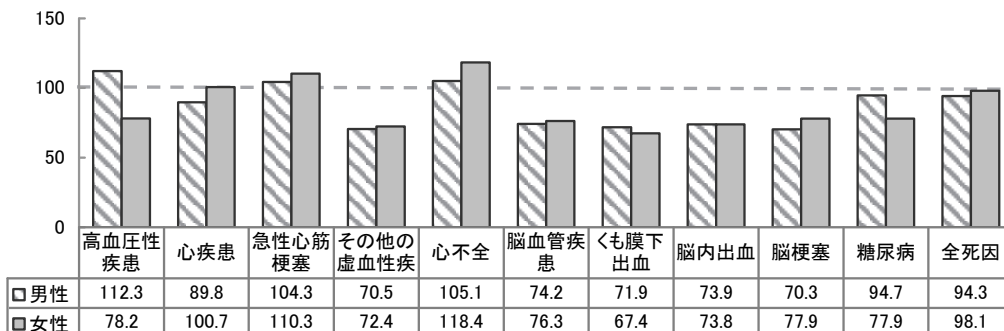
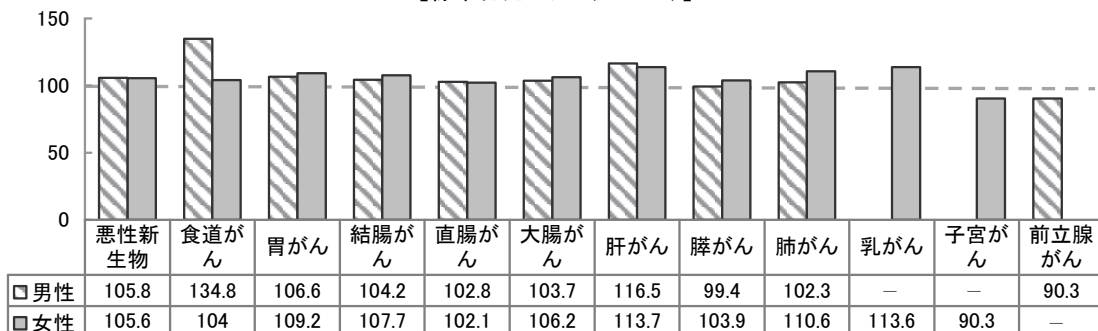
※死亡率：粗死亡率であり、人口10万人に対しての死亡数

資料：西宮市 保健事業の概要（平成27年度版）

(5) 標準化死亡比（SMR）

本市の標準化死亡比は、全死因で男性が94.3で女性が98.1となり、全国平均値よりも低い値となっています。死因別では、男性、女性ともにがんの多くが全国平均値である100を超えており、急性心筋梗塞や心不全も全国平均値を上回っています。一方、脳梗塞をはじめとする脳血管疾患や糖尿病は全国平均値を大きく下回っています。

【標準化死亡比（SMR）】



※平成18～22年度の死因別死亡数などから求めたもの

資料：兵庫県立健康生活科学研究所健康科学研究センター業務年報（平成25年度）

(6) 死亡場所の推移

本市の死亡場所別の死亡数の状況を見ると、診療所以外は増加しています。

死亡場所の構成割合では、全体に占める病院の割合が最も高くなっていますが、年々低下傾向にあります。一方、老人ホーム、自宅の割合は増加傾向となっています。

【死亡場所の件数と構成割合の推移】

		病 院	診療所	介護老人保健施設	老人ホーム	自 宅	その他	総数
平成 15 年	死亡数 (人)	2,419	60	2	19	355	71	2,926
	割合 (%)	82.7	2.1	0.1	0.6	12.1	2.4	100.0
平成 20 年	死亡数 (人)	2,641	39	6	70	507	63	3,326
	割合 (%)	79.4	1.2	0.2	2.1	15.2	1.9	100.0
平成 25 年	死亡数 (人)	2,810	23	35	199	620	70	3,757
	割合 (%)	74.8	0.6	0.9	5.3	16.5	1.9	100.0

資料：人口動態統計

3 西宮市の医療提供体制

(1) 保健医療圏と基準病床数

① 保健医療圏

・1次保健医療圏

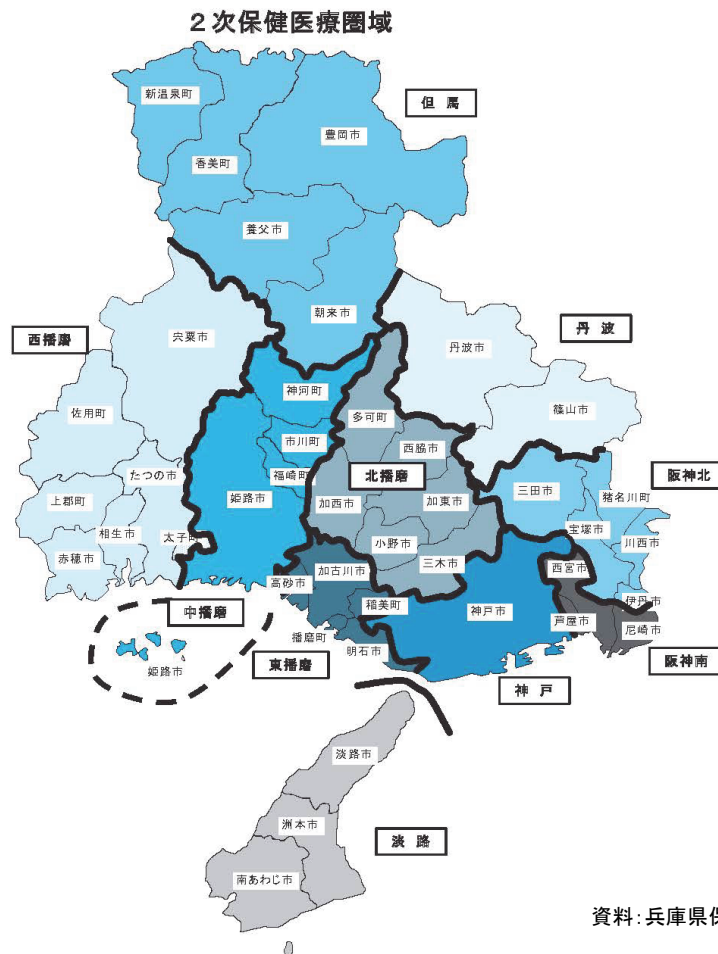
日常の疾病の予防や健康管理及び初期患者の診断・治療など、身近で頻度の高い医療福祉サービスに対応するための圏域で、原則、市町村の行政区画とされています。

・2次保健医療圏

入院医療が必要な一般的な医療需要に対応するための圏域です。

兵庫県では、『兵庫県保健医療計画』において、住民の生活圏、行政や保健医療団体の活動区域、中核的な医療機関の分布、患者の受診状況などを総合的に勘案の上、10の圏域を設定しています。

本市は、尼崎市及び芦屋市とともに、「阪神南保健医療圏域」に属しています。



・3次保健医療圏

高度で特殊専門的な医療提供体制の完結を図る圏域として設定されているもので、県全域が「3次保健医療圏域」となっています。

② 基準病床数

兵庫県保健医療計画では、療養病床及び一般病床の「基準病床数」については2次保健医療圏域ごとに、精神病床、結核病床、感染症病床については県単位で定めています。この基準病床数は、医療法に基づき、整備を図るべき病床数の一定の水準を示すもので、原則として、既存病床数が基準病床数を超える地域では、病院・有床診療所の開設・増床は出来ません。

兵庫県の基準病床数については、平成23年4月に設定されており、今回は平成28年4月までの間に見直しが見込まれています。

(平成27年4月1日現在)

	圏域	基準病床数	既存病床数	病床数の過不足
		(平成23年4月1日～)		
療養病床 及び 一般病床	神戸	15,522	15,393	-129
	阪神南	8,778	8,747	-31
	阪神北	6,775	6,725	-50
	東播磨	6,339	6,335	-4
	北播磨	3,342	3,341	-1
	中播磨	5,576	5,406	-170
	西播磨	2,811	2,732	-79
	但馬	1,838	1,493	-345
	丹波	1,368	1,249	-119
	淡路	1,733	1,726	-7
	合計	54,082	53,147	-935
	精神病床		10,938	11,375(724)
結核病床		178	150(50)	-28
感染症病床		58	54(0)	-4

※()内の数値は西宮市内の病床数

資料:兵庫県医務課提供資料

(参考) 今後の医療提供体制について

平成26年6月に成立した「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律(平成26年法律第83号)」(以下、「医療介護総合確保推進法」という。)によって、医療機関による病床機能報告制度の導入や、都道府県が主体となり、2025年を見据えた地域医療構想を医療計画の一部として策定することが定められました。

・「病床機能報告制度」

医療機関が有する病床(一般病床及び療養病床)が担っている医療機能^{※1}の区分を医療機関自らが選択し、病棟単位を基本として都道府県に報告する制度です。市内の医療機関の届出状況は次の通りです。

【機能別病床数】

(平成 26 年 7 月 1 日時点)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
西宮市	1,137	1,802	334	1,260	4,533

資料:兵庫県「病床機能報告(平成 26 年度)の結果について」を基に医療計画課が作成

注 1) 医療機能の主な内容

高度急性期機能：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期機能：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能

回復期機能：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能

慢性期機能：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能

・「地域医療構想」

都道府県は、将来（2025年）の医療需要を推計し、医療提供体制を目指すほか、それを実現するための地域の実情に応じた課題を抽出し、具体的な施策を検討することとなっています。

これを受け兵庫県でも、原則、2次保健医療圏を単位とする「構想圏域」ごとに、将来を見据えた医療体制にむけた課題への協議・検討を行い、バランスのとれた医療提供体制の構築を目指した「地域医療構想」の策定に着手しています。

(2) 医療施設状況

市内の医療施設数は、人口10万人当たりでみると、「一般診療所（除く有床）」、「歯科診療所」では全国、兵庫県より多い状況となっています。

市内の病床利用率は、全病床で81.8%、一般病床で77.8%、療養病床で90.1%、精神病床で84.7%となっています。一般病床、療養病床の稼働率は、全国、兵庫県と比較しても高い数値となっています。

また、人口10万人当たりの医療従事者数をみると、医師、歯科医師、薬剤師のすべての職種で兵庫県に比べ多く、全国と比較しても医師、薬剤師は多い状況にあります。

① 施設数

(平成26年10月1日現在)

		病 院			一般診療所 ^{注1}		歯科診療所
		一般病院 (再掲)	精神科病院 (再掲)	有床 (再掲)			
	西宮市	24.0	22.0	2.0	502.0	14.0	279.0
人 口 10 万 対	西宮市	4.9	4.5	0.4	103.1	2.9	57.3
	兵庫県	6.4	5.8	0.6	89.9	4.5	53.9
	全 国	6.7	5.8	0.8	79.1	6.6	54.0

資料：厚生労働省 医療施設調査（平成26年）

注1）一般診療所：病床を有しない、もしくは病床数が19床以下の医療機関（歯科診療所を除く）

② 病床数

(平成26年10月1日現在)

		病 院				一 般 診 療 所
		一般病床 (再掲)	療養病床 (再掲)	精神病床 (再掲)		
	西宮市	5,133.0	3,140.0	1,241.0	724.0	141.0
人 口 10 万 対	西宮市	1,054.0	644.8	254.8	148.7	29.0
	兵庫県	1,179.1	702.2	260.8	211.5	54.5
	全 国	1,234.0	703.6	258.2	266.1	88.4

資料：厚生労働省 医療施設調査（平成26年）

③ 病床利用率

(単位:%)

	全病床	一般病床	療養病床	精神病床
西宮市	81.8	77.8	90.1	84.7
兵庫県	79.0	72.3	89.7	89.0
全 国	80.3	74.8	89.4	87.3

資料:厚生労働省 病院報告(平成26年)

④ 病院関係従事者(常勤換算)

(平成26年10月1日現在)

		総 数						
			医 師	歯科医師	薬 剤 師	看護師・准看護師		
						看 護 師	准看護師	
西宮市		7700.1	1117.8	31.2	208.3	3256.8	2966.3	290.5
病院 100 床 あ た り	西宮市	150.0	21.8	0.6	4.1	63.5	57.8	5.7
	兵庫県	130.7	13.5	0.3	3.4	57.9	50.9	7.0
	全 国	130.3	13.4	0.6	3.0	57.6	48.9	8.7

※総数には、医師、歯科医師、薬剤師、看護師・准看護師以外の職種を含む

資料:厚生労働省 病院報告(平成26年)

(参考) 5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)に対応する兵庫県下の医療機関情報について

兵庫県では、医療法第6条の3の規定に基づく情報公表制度により5疾病に対応する医療機能を有する病院名を兵庫県のホームページ上で公開しています。

詳しくは、下記URLを参照してください。

兵庫県のトップページ(<http://web.pref.hyogo.lg.jp>) > 暮らし・環境 > 健康・福祉 > 医療・保健衛生 > 兵庫県保健医療計画(平成25年4月改定)について

※ホームページの情報は逐次更新されます。

4 市民の受療状況

(1) 西宮市国民健康保険加入者の受療状況

西宮市の国民健康保険の加入者の医科レセプトの状況によると、市内の医療機関での受診率は入院で65.1%、外来で81.5%となっています。

居住地区別に、市外受診率をみると、入院では「塩瀬」(74.3%)、「山口」(68.9%)、外来では「山口」(68.0%)、「塩瀬」(62.2%)となっており、市の北部地域では市外流出が半数を超える状況となっています。

【西宮市国民健康保険加入者医科レセプトの割合】

(平成26年4月診療分から平成27年3月診療分)

地区	入 院		外 来	
	市内	市外	市内	市外
全 市	65.1%	34.9%	81.5%	18.5%
本庁南	73.0%	27.0%	87.0%	13.0%
本庁北	63.5%	36.5%	83.3%	16.7%
鳴 尾	74.7%	25.3%	88.8%	11.2%
瓦 木	66.9%	33.1%	86.5%	13.5%
甲 東	65.5%	34.5%	82.4%	17.6%
塩 瀬	25.7%	74.3%	37.8%	62.2%
山 口	31.1%	68.9%	32.0%	68.0%

資料：国民健康保険レセプトデータに基づき西宮市が作成

(2) 入院患者数等

本市の人口10万人あたり1日平均入院患者数の総数は861.6で、全国、兵庫県と比べて低い数値となっています。病床の種類別に見ても同様の傾向となっています。本市の人口10万人あたり1日平均新入院患者数の総数は35.7で、全国、兵庫県と比べて高い数値となっています。

① 人口10万人あたり1日平均入院患者数

	総数	病床の種類（再掲）		
		一般病床	療養病床	精神病床
西宮市	861.6	501.5	229.4	125.9
兵庫県	931.7	508.6	233.4	188.2
全 国	992.4	527.0	230.9	232.8

資料：厚生労働省 病院報告(平成26年)

② 人口 10 万人あたり 1 日平均新入院患者数

	病院の種類	病床の種類（再掲）		
	総数	一般病床	療養病床	精神病床
西宮市	35.7	34.2	0.9	0.6
兵庫県	33.5	32.0	0.8	0.6
全 国	33.2	31.5	0.8	0.8

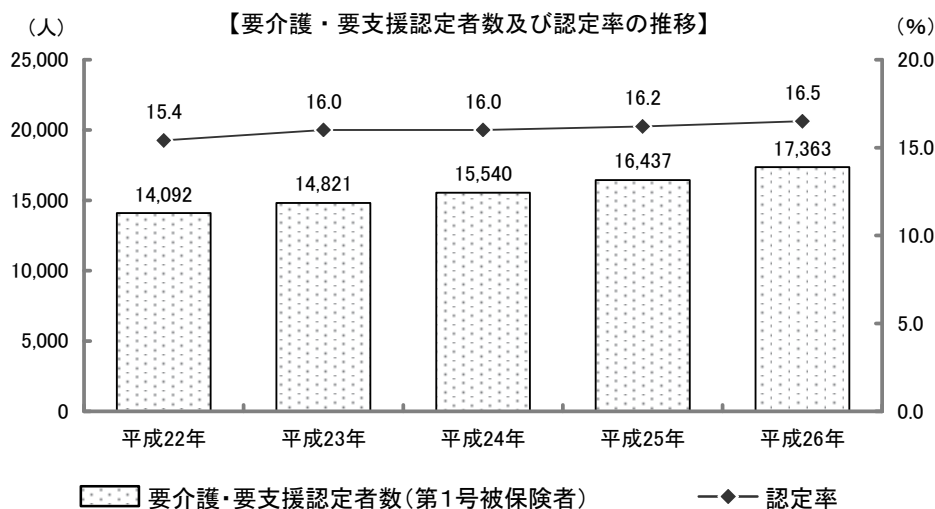
資料：厚生労働省 病院報告（平成 26 年）

5 高齢者・障害のある人等の状況

(1) 高齢者の状況

① 要介護・要支援認定者数の推移

本市の要介護・要支援認定者数及び認定率（第1号被保険者に占める要介護・要支援認定者数の割合）の推移をみると、ともに増加傾向にあります。平成26年9月末で、要介護・要支援認定者数は17,363人で、認定率は16.5%となっています。

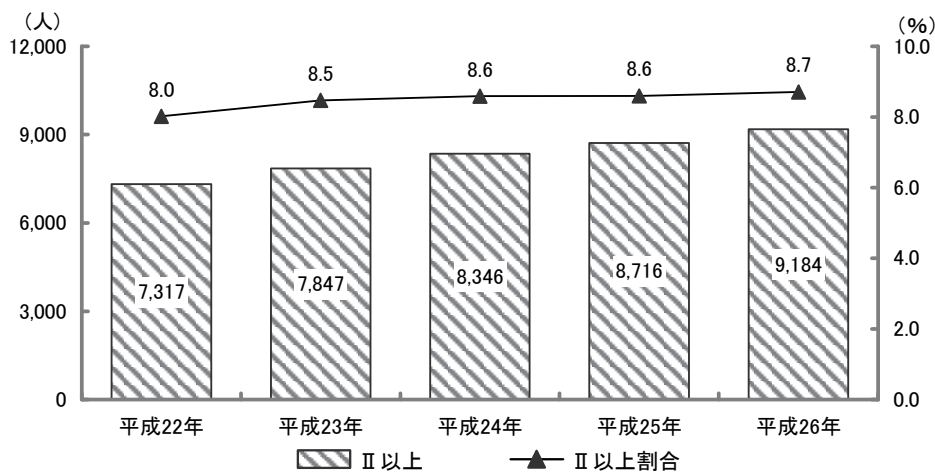


資料：西宮市介護保険事業状況報告(各年9月末)

② 認知症高齢者数の推移

本市における「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者数は9,184人であり、年々増加傾向にあります。また、「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者が65歳以上高齢者全体に占める割合も増加しています。

【「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者数と65歳以上高齢者に占める割合の推移】



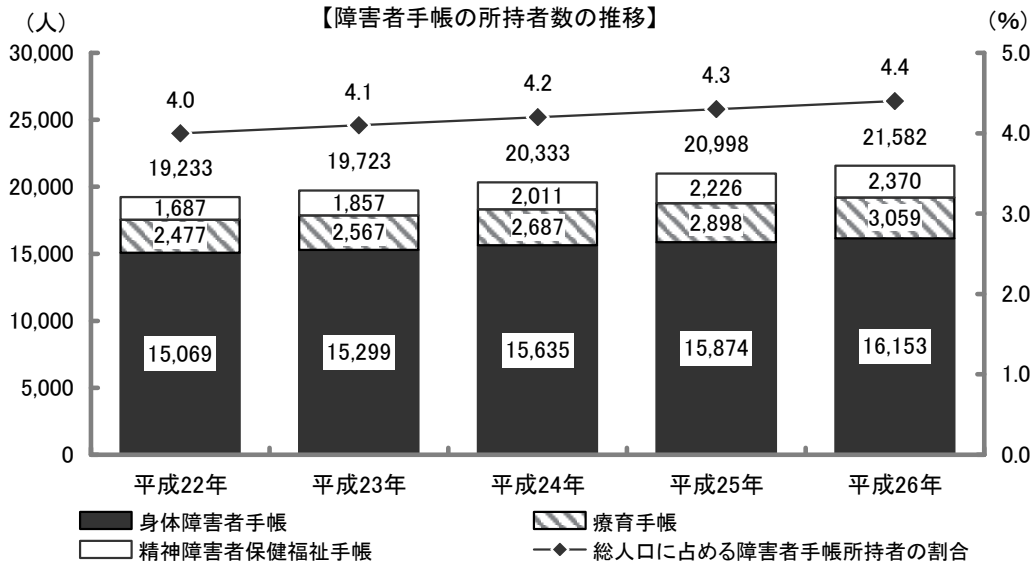
※この統計は要介護認定申請に基づくもので、申請を行っていない認知症高齢者は含まれない。

資料：西宮市住民基本台帳及び西宮市高齢福祉課資料に基づき医療計画課が作成(各年9月末)

(2) 障害のある人等の状況

① 障害者手帳の所持者数の推移

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の各手帳所持者数は、いずれも増加傾向となっています。



資料：西宮市推計人口(各年4月1日)と
西宮市障害福祉課資料(各年3月末)に基づき医療計画課が作成

② 障害者自立支援医療（精神通院医療）受給者数の推移

自立支援医療における精神通院医療受給者数は、平成22年以降は年々増加しており、平成26年には4,883人となっています

(各年3月31日現在)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
受給者数	3,676	3,990	4,254	4,565	4,883

資料：西宮市障害福祉課資料

③ 難病等患者数

ア 指定難病等患者数

平成 26 年 12 月 31 日以前は、56 疾患を対象に医療費助成が行われてきましたが、平成 27 年 1 月より「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、同法に指定難病とされた 110 疾病（平成 27 年 7 月から 306 疾病）を対象に医療費助成が行われることとなりました。

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

特定医療費（指定難病）受給者証所持者数（110 疾病）	3,132
特定疾患医療受給者証所持者数（4 疾病）	17
県単独特定疾患医療受給者証所持者数（3 疾病）	1
先天性血液凝固因子障害等医療受給者証所持者数（12 疾病）	25

資料：西宮市 保健事業の概要（平成 27 年度版）

イ 小児慢性特定疾病患者数

平成 26 年 12 月 31 日以前は、11 疾患群 514 疾病を対象に医療費等助成が行われてきましたが、平成 27 年 1 月より改正児童福祉法が施行され、14 疾患群 704 疾病を対象に医療費等助成が行われることとなりました。

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

小児慢性特定疾病医療費受給者証所持者数	408
---------------------	-----

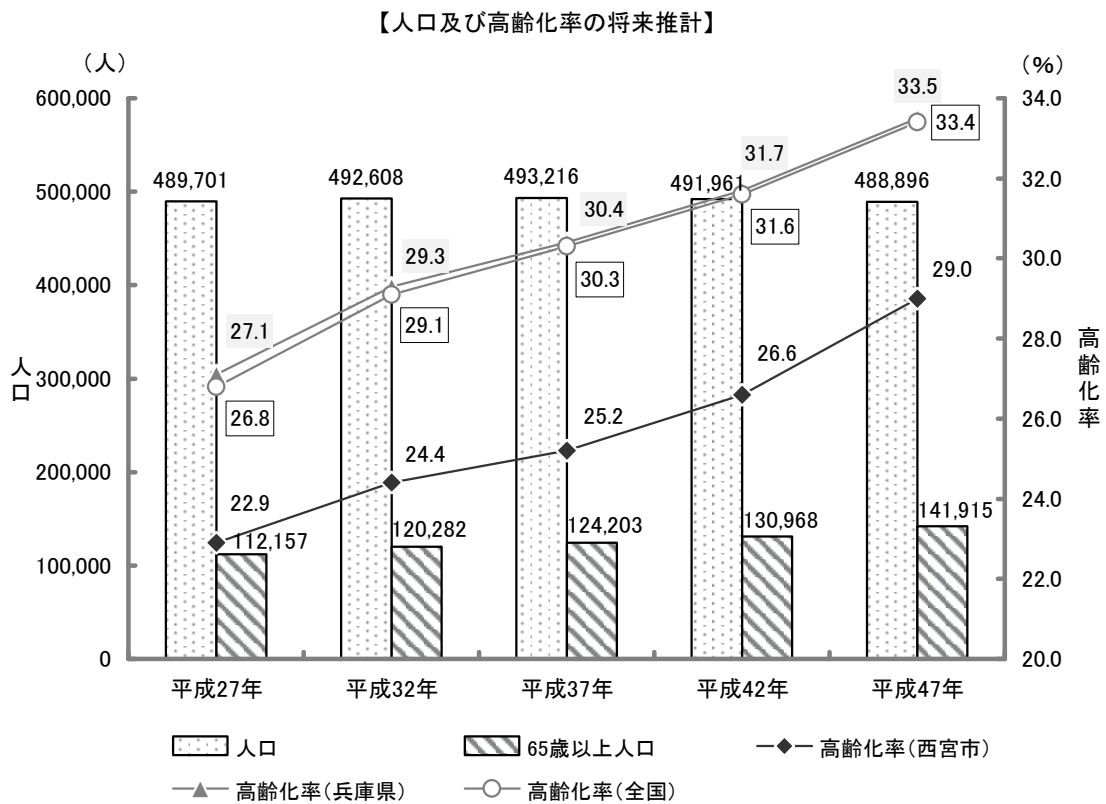
資料：西宮市 保健事業の概要（平成 27 年度版）

6 将来推計

(1) 人口及び高齢化率

今後、本市の人口は、微増を継続するものの、平成37年頃をピークに減少に転じると予想され、平成47年には約48万8,900人に減少すると推計されます。

高齢化率（65歳以上人口の割合）では、現状で全国、兵庫県と比較して、低くなっておりますが、今後、急速な高齢化の進行により平成47年には29.0%となると見込まれています。



※資料：西宮市政策推進課推計【西宮市】

「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）【全国】

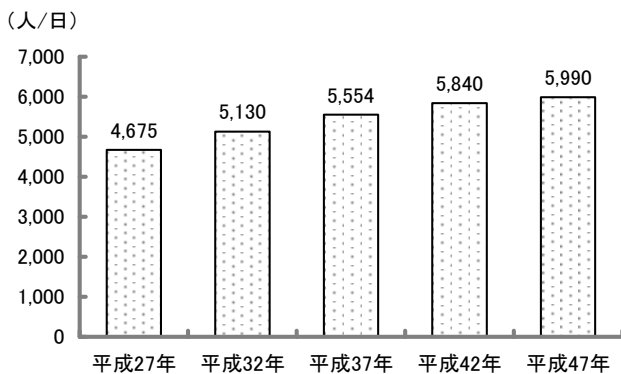
「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）【兵庫県】

(2) 疾病別患者数

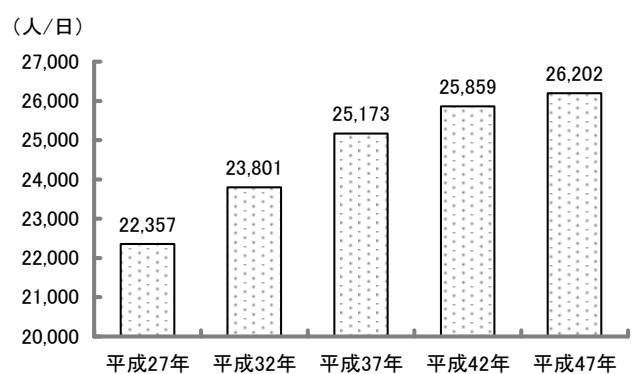
本市の1日当たりの患者数の将来推計について、平成37年の入院患者数は約5,500人(約19%増)、外来患者は約2万5,000人(約13%増)と予測されます。

また、4疾病(がん、脳血管疾患、心疾患、糖尿病)の1日当たりの患者数の将来推計については、平成37年には、がん患者の入院患者が約500人(約16%増)、外来患者が約500人(約13%増)、脳血管疾患の入院患者が約600人(約28%増)、外来患者が約300人(約24%増)。心疾患患者の入院患者が約200人(約34%増)、外来患者が約500人(約22%増)、糖尿病の入院患者が約150人(約22%増)、外来患者が約700人(約12%増)となっています。

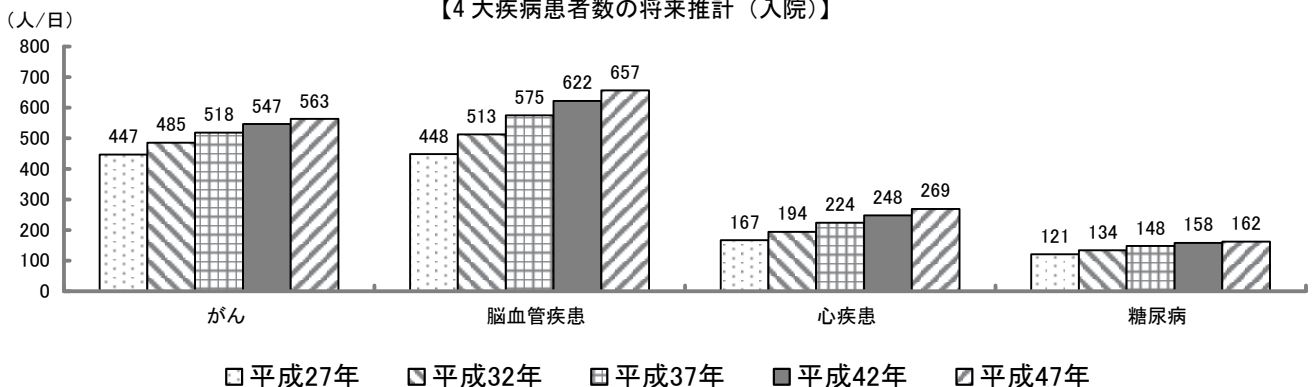
【総患者数の将来推計(入院)】



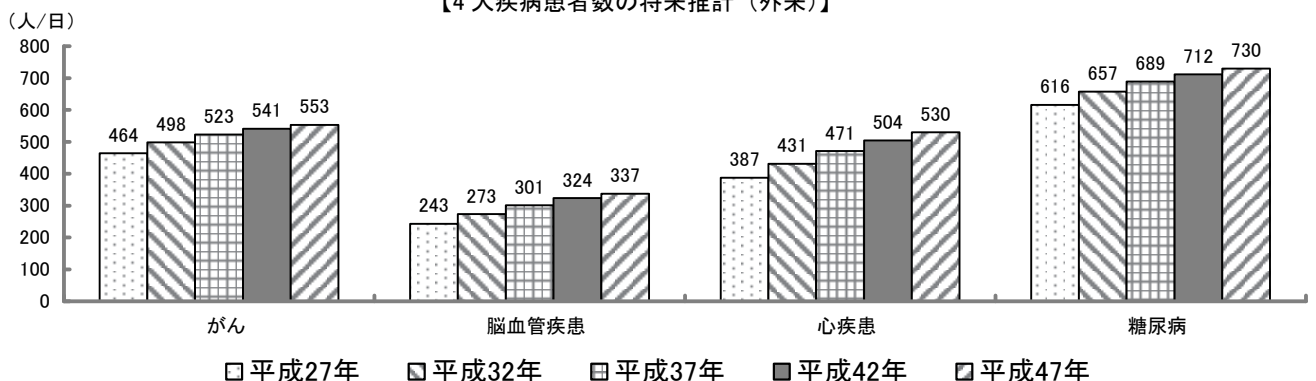
【総患者数の将来推計(外来)】



【4大疾病患者数の将来推計(入院)】



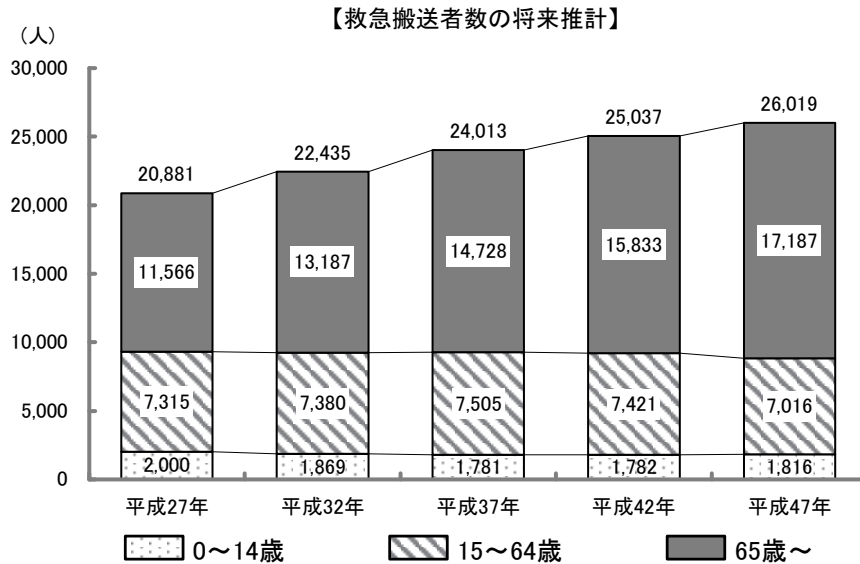
【4大疾病患者数の将来推計(外来)】



資料：西宮市政策推進課推計及び西宮市国民健康保険課資料、西宮市高齢者医療保険課資料を基に医療計画課が作成

(3) 救急搬送者数

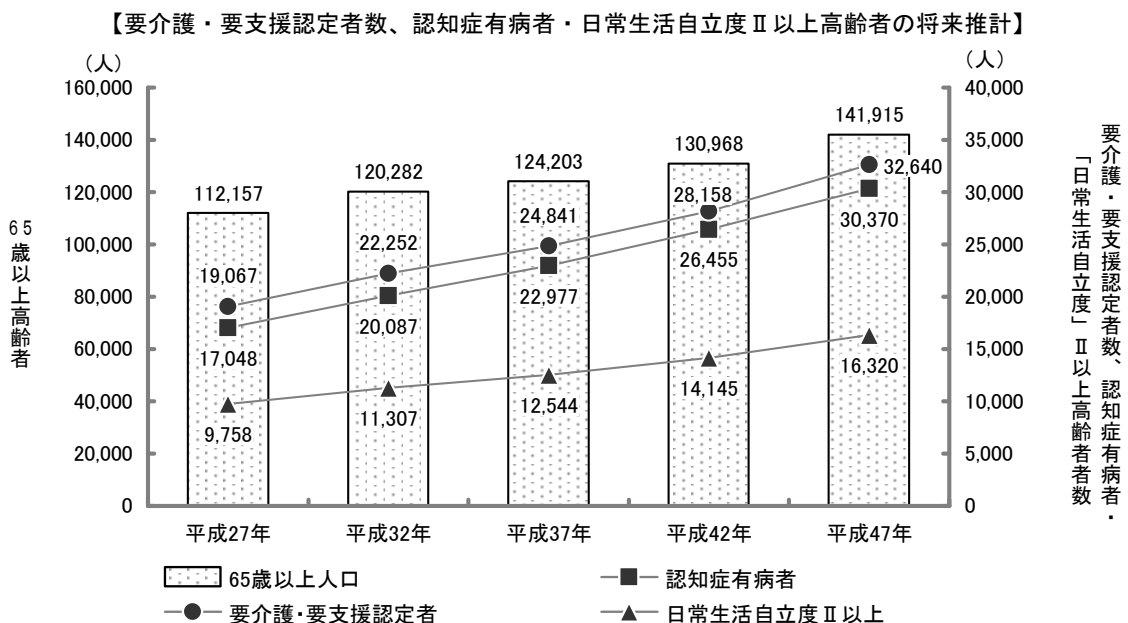
本市の、救急搬送者数の将来推計について、平成37年には約2万4,000人（約15%増）となり、そのうち65歳以上高齢者は約1万5,000人（約27%増）に達する見込みです。



資料：西宮市政策推進課推計及び西宮市消防局救急課資料を基に医療計画課が作成

(4) 要介護・要支援認定者数、認知症有病者数等

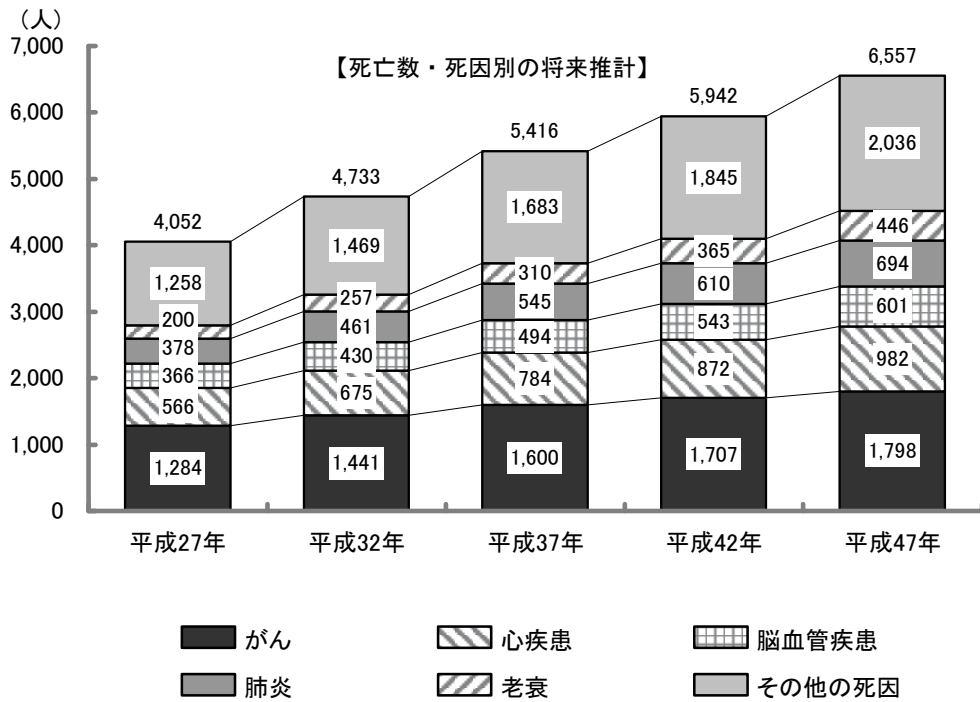
要介護・要支援認定者数の将来推計について、平成37年には約2万5,000人に、認知症有病者は約2万3,000人に、「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者は約1万2,500人に達する見込みです。



資料：厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究総括研究報告書
及び西宮市政策推進課推計、西宮市介護保険課、西宮市高齢福祉課資料を基に医療計画課が作成

(5) 死亡数

今後、死亡数は大幅な増加が予測されており、平成37年の年間死亡数は約5,400人（約33%増）となる見込みです。



資料：西宮市政策推進課推計及び西宮市保健所資料を基に医療計画課が作成

